



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST 長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 21
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内
☎026(235)2800 FAX026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／若麻績信昭 幹事／西沢 徹 クラブ会報委員長／藤澤克彦
SAA／南 信行 副SAA／狩野 土

第1681回例会 2023年（令和5年）10月 20日（金） ガバナー公式訪問例会
第1682回例会 2023年（令和5年）10月 28日（土） 森林（もり）例会
第1683回例会 2023年（令和5年）11月 12日（日） 地区大会

世界に希望を生み出そう CREATE HOPE in the WORLD

会長挨拶

若麻績信昭会長

厭離穢土・欣求浄土（おんりえど・ごんぐじょうど）直訳すると、このごちゃごちゃした娑婆世界を離れ、西方極楽世界の浄土に救いを求めるという意味になります。

三河の国の豪族だった松平家、4代目の親忠（ちかただ）さんが信仰が厚く、浄土宗の大樹寺を創建するほどでした。ここから浄土宗との繋がりが始まりました。

家康さんが当時人質だった、今川義元さんが「桶狭間の戦い」で、織田信長さんに打ち取られてしまった後、あの大樹寺に、逃げ込みました。その時家康さんは「もはやこれまで、ご先祖様の墓前で割腹する」と、覚悟を決めた時、時の大樹寺のご住職だった登誉上人が「何を言っている、追い詰められた時こそ、活路を見出しなさい」と叱咤激励し、僧侶五百人程集め家康さんを守ったそうです。その時の旗印が「厭離穢土・欣求浄土」だったので、その後家康さんは、これを旗印にしました。

大樹寺に留まった家康さんは、浄土宗の教えを授かる「五重相伝」も受けています。その時登誉上人から「何故、人を傷つけるのか、何故、武功を上げようとするのか？」と問われた家康さんが、答えに窮していると「ただ立身出世の為に、人を傷つけ、土地を奪うだけなら賊と同じが、武士である以上避けられない事でもある。天下人とは民衆の父母となり、貧しい者も、病める者も、皆が人生を謳歌出来る世の中を作らなくてはならない。その気持ちを絶やさなければ、泰平の世を築くことができる」とさしました。

小田原攻めの後、秀吉さんに江戸行きを命じられた家康さんは、江戸域を目指し、江戸入府の折、芝の増上寺の門前で、突如馬が足を止めました。

その時に会ったのが増上寺十二世存応（ぞんのう）上人でした。存応上人に感銘を受けた家康さんは「是非増上寺を、江戸徳川家における菩提寺になって下

さい」と申し入れたそうです。そのままだったら、全国の寺院が全て浄土宗に改宗させられたかもしなかったですが、そうはならず元和二（1616）年四月家康さんが、終焉を迎える75歳の時「自分が亡くなったら、遺体は久能山東照宮へ、葬儀は増上寺で、位牌は故郷の大樹寺へ、一周忌過ぎたら日光にお堂を建立し、関東の守り神とするように」と遺言されたそうです。

幹事報告

西沢 徹幹事

- ・次週28日(土)は、ロータリー森林（もり）例会となります。27日の例会に振替となります。ご参加の皆様は、長野駅東口ユメリアバスパークに7:20にご集合お願い致します。また、11/3は祭日の為休会。11/10は、地区大会の振替となります。次回国際21での通常例会は、11/17 2階の弥生の間となります。宜しくお願い致します。
- ・本日より、入り口にダメゼットイ普及運動の募金箱を設置致しました。薬物乱用を許さない社会環境を目指して、1993年より官民一体となってスタート致しました。11/17の例会まで設置しておりますので、こちらもご協力お願い致します。
- ・10月21日・22日に、「古着 de ワクチン」のイベントが地区内で開催されます。22日14時30分より、ウェビナーが、YouTubeにてロータリアン限定配信開始されます。URLは、掲示板に記載してあります。是非ご覧ください。

11/17 本日のプログラム

ゲスト卓話 邱文萃米山奨学生
「私の高校時代の部活動」

出席・ニコBOX報告 青木 宏例会運営委員長

10/20 (会員28名) 出席19名 出席率67.86%

ゲスト：折井正明ガバナー (松本RC)

：邱文莘米山奨学生

ビジター：高木伸幸地区副幹事 (松本RC)

：湯本浩司ガバナー補佐 (須坂RC)

☆全員からガバナー補佐を歓迎して1,000円ずつ☆



・青木 宏さん・藤澤克彦さん
・飯田弘己さん・伊東義次さん
・狩野 土さん・小山浩太郎さん
・南 信行さん・村田秀雄さん
・村田弘志さん・中野欣哉さん
・西沢 徹さん・太田裕志さん
・佐藤吉朗さん・清水光朗さん

・竹村利之さん・浦田理奈さん・若麻績信昭さん
・山本博昭さん・若麻績信昭さん・西沢 徹さん
・村田弘志さん☆折井正明ガバナー本日は宜しく
お願い致します。

・合計 24,000円 ・累計 207,927円

奨学金贈呈



ゲスト卓話 折井正明ガバナー

私たちのロータリーライフを実りある楽しいものにするために
「Rotaryに 学び、行動し、楽しみましょう！」

みなさん、こんにちは。今日は「私たちのロータリーライフを
実りある楽しいものにするために」というテーマで、また副
題を「Rotaryに学び、行動し、楽しみましょう！」ということで、
2023-2024年度の国際ロータリー第2600地区でのロータリー
ライフを实りある楽しいものにしていくためのお話をさせてい
ただければと思います。

ゴードン・マッキナリー会長は、今年1月に開催された国
際協議会の開会メインセッションで「世界に希望を生み出そう」
という2023-24年度のRIテーマを発表しました。そして、世
界に希望を生み出すために重要な方法は平和に重点的に
取り組むことであり、過去1年間、ロシア軍による侵攻を受け
たウクライナの人びとを支援するためにロータリー会員が行動
してきたことに言及し、平和に重点的に取り組むことを通じて
世界に希望を生み出すことを年度のテーマとしました。すでに、
洪水で大きな被害を被ったパキスタン、トルコとシリアで起き
た悲惨な震災に手を差し伸べる取り組みをしています。

また、ゴードン・マッキナリー会長は、これまでのアイデア
や取り組みを“継続”し前進させることの重要性を強調しま
した。さらに、新型コロナウイルスの世界的流行などによっ
て深刻化しているメンタルヘルスの問題の影響を受けている
人たちにも、ロータリー会員にも希望を与えるべきだと述べま
した。

行動計画 (THE ACTION PLAN)

国際ロータリーでは、行動計画を受け入れ、実行するた
めの現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社
会で持続可能な変化を生む最善の方法だと考えています。

そして、行動計画に盛り込まれるべき要素として、四つの
戦略的優先事項の内容が次のように示されました。

- ・既知の成果と実証された証拠に基づいて奉仕プロジェクト
を立案する方法について会員に話す必要があります。これ
が「より大きなインパクトをもたらす」という行動計画の
最初の項目の前提になります。例えば、過去35年にわた
ってロータリーが心血を注いできたEND POLIO NOWポリ
オ根絶活動を見れば、その軌跡や実績はデータによって、
また、映像やその他の資料によって実証されてきています。
・そして互いに私たちが奉仕するすべての人とオープンで、
インクルーシブで、思いやりのある心をもって接すること、
これが「参加者の基盤を広げる」という行動計画の二番
目の項目に対応します。
- ・世代や国境を超えて活動し、多様な人々関係を築くた
めにあらゆる機会を探し求める、という三番目の戦略的優
先事項が「参加者の積極的なかわりを促す」ためにな
ってはならないことを意味します。
- ・最後に、世界に持続可能な変化を生む新しいアイデア
や視点を進んで受け入れていくことで私たちの「適応力
を高める」という行動計画の4つめの項目につなげてい
かなければなりません。

これら四つの戦略的優先事項に基づき継続し前進させる
べきこれまでの主な取り組みをゴー継続と前進の最優先項目
はポリオ根絶の活動です。言うまでもなく、ロータリーは世界
に先駆けてポリオ根絶活動を開始して35年、草の根の運動
は世界に影響を与えました。

2026年の根絶宣言を目指していますが、今年から3年間
は自然株由来の発症例がないことが、2026年の根絶宣言
の条件です。予断を許さない厳しい状況ですが、であれば
こそ、私たちが最後のカウントダウンの当事者にならな
ければなりません。

私が当地区本年度のガバナーとして地区標語をLet's
send out the joy of Rotary in action, hand in hand!「手
をつなぎ行動するロータリーの喜びを発信しよう!」としま
したのは、私たちが三年も続いたコロナ禍で多くの苦しみ
や会員減少の痛みを経験する中、今こそマッキナリーRI
会長と気持ちを一つにして、持続可能な良い変化をもた
らすために手を取り合い共に行動することの喜びを感
ずき、またそのことを世の中に発信することが大切だと
考えたからです。

そしてその行動とは、過去35年の長きにわたり国際
ロータリーが世界の先駆けとして展開してきたポリオ
根絶活動が最もふさわしいと思いました。私たちがその
意味を改めて振り返り、2026年のポリオ根絶宣言を
目指して最後のカウントダウンに自らがコミットする
ことを通じてロータリーとは一体何をしてきた
どのような団体なのかを改めて身をもって経験する
ことで、私たちのロータリアンとしてのアイデンティ
ティーを再認識することがまさに今なすべき継続と
前進に他ならないと思えたからです。

私たちがポリオ根絶に向かって手を取り合っ
て行動する中に喜びを実感することが出来れば
私たちの仲間が増えていくことへの希望が芽
生えるのではないかと願うからでもあります。
地区の基本方針を「ロータリー行動計画を
ポリオ根絶活動を通じて地区全体として明
確に実現する」とし、新年度の重点目標を
「あと一歩まで来たポリオ根絶のために私
たちは行動する」、と屋上屋を重ねるが如
くに強調をいたしました理由はそこにあり
ます。

例会案内

- 11月24日 休会 (定款に基づく休会)
- 12月1日 年次総会
- 12月8日 年末家族会
於：シャトレゼホテル
- 12月15日 ゲスト卓話 オンユー シュエン
米山奨学生 (戸倉上山田RC)
- 12月22日 ゲスト卓話 長野女子高等学校
インターアクトクラブ
- 12月29日 休会

エンドポリオキャンペーン「古着 de ワクチン」

10月22日(日)に須坂市勤労青少年体育センターにて、「古着 de ワクチン」のイベントが開催され、会長・幹事お二人で、古着をお届けしてきました。



第1682回ロータリーの森林(もり)例会(青少年育成基金助成金事業)

2023年(令和5年)10月28日(土) 創立20周年記念事業分収育林 飯山照岡山(野々海高原)
長野女子高等学校インターアクトクラブ4名 会員8名 計12名

薄曇りで午後から雨という予報の中、会員8名、長野女子高等学校インターアクトクラブの生徒さん3名、望月教頭先生と事務局総勢13名で飯山野々海高原へ行って参りました。昨年度までは、コロナの影響もあり、森林整備活動をご一緒出来ませんでした。4年振りの飯山照岡山での森林(もり)例会となりました。山々の紅葉も素晴らしく、行きのバスの中では徹夜で作成して頂いた資料をもとに南信行先生による、野々海高原周辺の歴史や気候、今後の森林(もり)の展望など詳しくご講義頂きました。インターアクトクラブの生徒さんも真剣に聞いていらっしゃいました。山に到着し、1時間くらい下草刈りの作業をし、遊歩道もとても綺麗になりました。また、先日湯本ガバナー補佐から購入にした鋸を使い作業をしました。参加した皆さんからは「切れ味抜群!」との高評価を頂きました。以前飯田さんが植えたブナも40cmくらいまでの高さの枝になっていました。学生さん達とブナの実を探し種子を植えていました。また来年が楽しみです。湯滝温泉へ移動し、温泉に浸かり名物のみゆきのポークをたっぷりいただき、帰路に着きました。学生の皆さんからも「貴重な経験が出来た。」と感想を頂きました。雨にあうこともなく、無事に作業が出来ました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。



2023年11月10日指名委員長開催

11月10日(金)に2024～2025年度役員・理事候補者指名委員会がかよう亭にて開催されました。



第1683回例会 2023-2024年度地区大会

11月11日(土)～12日(日) 松本空港RCホスト 於：キッセイ文化ホール
出席：会員6名 インターアクトクラブ2名・望月 誠先生 邱文華米山奨学生

11月12日日曜日に松本市キッセイ文化ホールにて、地区大会が開催されました。前日11日は、ホテルブエナビスタにて会長・幹事会、また米山ホームカミング、林華明RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会がありました。また、邱文華米山奨学生も米山学友会懇親会に参加し、会長・幹事と同行し前日から宿泊されました。

二日目は、キッセイ文化ホールに場所を移し、青少年アワー、尾身茂先生による特別講演

「人類の感染症との闘いー小児麻痺根絶にロータリーの果たした役割ー」というテーマでポリオ根絶活動とコロナ対策の関わりなどについてお話を伺いました。青少年アワーでは、長野女子高等学校インターアクトクラブの会長・幹事、邱文華米山奨学生も堂々と自己紹介をされていました。松本マラソンと日程が重なり渋滞等心配でしたが、無事に帰路に着きました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。

